

# 東北大学大学院国際文化研究科 創立 30 周年記念式典の報告



東北大学総長 富永悌二先生のスピーチの様子



東北大学総長 富永悌二先生のスピーチの様子

東北大学大学院国際文化研究科創立 30 周年記念式典は、富永悌二東北大学総長はじめ、東北大学理事・副学長、各部局長、また国際文化研究科との産学連携パートナー企業よりのご来賓、そして、国際文化研究科の名誉教授、退職教員、修了生、そして現役の教員、学生の皆さまにお越しいただき、盛会のうちに無事終了することができました。

記念式典は富永総長よりのご祝辞のあと、過去の3代にわたる国際文化前研究科長（小林文生先生、黒田卓先生、小野尚之先生）より、それぞれの在職時代の思い出と研究科への期待を込めたビデオメッセージをいただきました。



元国際文化研究科長 小林文生 先生

（英語コース International Graduate Program in Language Sciences 博士課程 2 年生）に国際文化研究科を選んだ理由、研究の内容、将来の抱負について語っていただき、素晴らしい映像とともに作成した研究科紹介ビデオです。これは大変好評でしたが、研究科ウェブサイトに掲載するだけでなく、今後も学生募集のイベント等で使用する予定です。

記念行事の部の最初には、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) 特別顧問の末吉竹二郎先生より「日本の GX (Green Transformation) を考える産業政策か、包括的な脱炭素政策なのか」という演題での特別記念講演をいただきました。80 分もの長時間にわたり、聞くものを飽きさせることのない話しぶり、また大いに考えさせられる内容に大変感銘を受けたのは私だけではなかったようです。私たち日本人に潜む 3 つの弱点として挙げられた

“internal”ではなく、“external”でしか動かない  
“Why?”ではなく、“What to do?”のみ  
“de jure”ではなく、“de facto”だけ  
これらの点については、今後の国際文化研究科運営、そして学生の指導にも大いに参考にさせていただけるものと思いました。



国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) 特別顧問  
末吉竹二郎先生



修了生記念トーク「国際文化と私：過去・現在・未来」の様子

続いて、「国際文化研究科と私：過去・現在・未来」と題した修了生記念トークでは、高橋梓先生（近畿大学准教授 2013 年博士課程修了・ヨーロッパ文化論講座）、戸敷浩介先生（宮崎大学教授 2008 年博士課程修了・科学技術交流論講座）、呉蘭先生（山形大学講師 2013 年博士課程修了・言語コミュニケーション論講座）の 3 名の本研究科修了生にご登壇いただきました。



近畿大学 高橋梓准教授  
(2013 年博士課程修了・ヨーロッパ文化論講座)



宮崎大学 戸敷浩介教授  
(2008 年博士課程修了・科学技術交流論講座)



山形大学 呉蘭講師  
(2013 年博士課程修了・言語コミュニケーション論講座)



モデレーター：国際文化研究科  
ジョン・ヒョンジン教授



モデレーター：国際文化研究科  
坂巻康司教授

それぞれから、国際文化研究科での学生生活、現在の自分の研究と仕事、これからの抱負を語っていただきましたが、特に印象に残ったのが、それぞれの指導教員、つまり恩師の先生方の思い出でした。また、モデレーターの坂巻康司先生、ジョン・ヒョンジョン先生らによる軽妙洒脱な進行もまた印象的でした。

最後に、世界中で活躍している本研究科の同窓生の中から、今野彩さん（多文化共生論講座 2017 年 3 月 MC 修了）、三木良子さん（国際政治経済論講座 2023 年 3 月 MC 修了）、金廷珉さん（異文化間教育論講 2008 年 3 月 DC 修了）の 3 名にいただいた心温まるビデオメッセージを披露しました。

末尾になりますが、ご多忙のところご来臨を賜りましたご来賓の方々、ご参会くださった皆さまをはじめ、本式典の企画、実行に携わってくださった関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。なお、記念式典・記念行事は、当日のライブ配信の模様を YouTube に収録していますので（URL は Top Page の 30 周年記念式典のバナーの下にございます）、御覧いただけますと幸いです。

江藤裕之（研究科長）



左から：杉本亜砂子理事・副学長、劉庭秀副研究科長、江藤裕之研究科長、  
富永悌二総長、滝澤博胤理事・副学長



式典開催に携わった研究科の教授陣とポスドクの皆さん